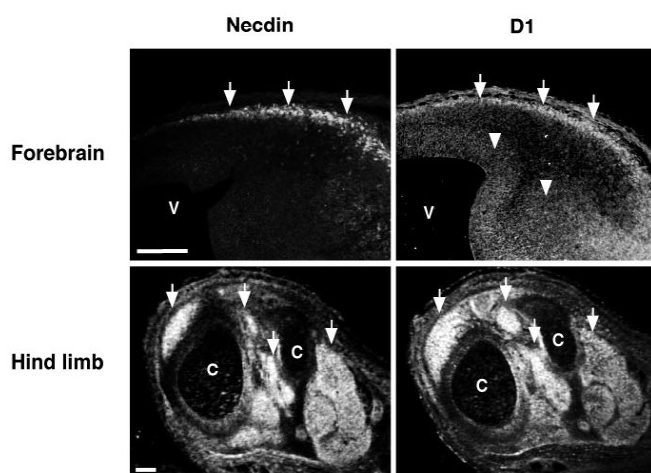
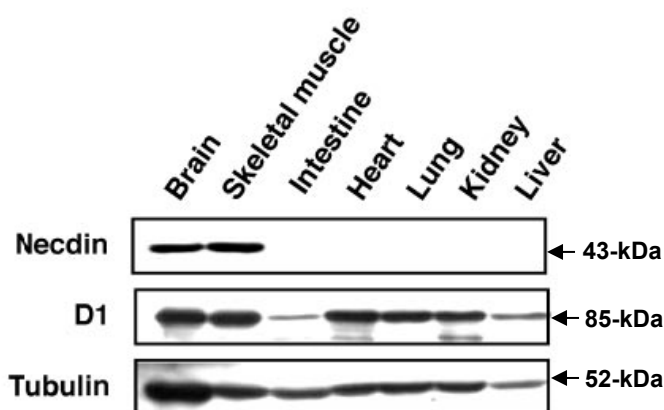
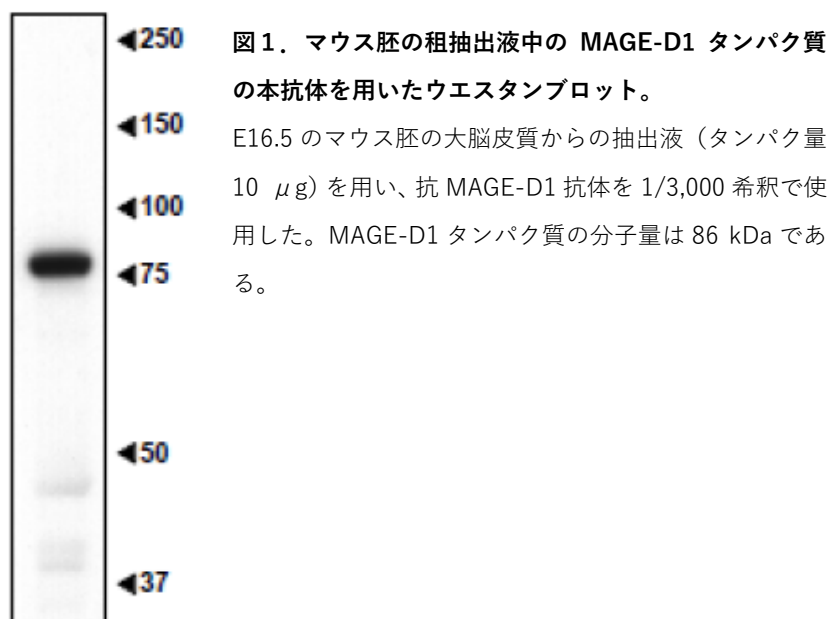


抗 MAGE-D1 / Dlxin-1 / NRAGE 抗体, ウサギ抗血清 (MD1)

商品コード	74-112
容量	100 µl
保存	-20 °C 凍結融解を避ける
濃度	N/A
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム添加
純度	ウサギ抗血清
抗原	リコンビナント MBT 融合マウス MAGE-D1 (アミノ酸 No. 1-775)
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	マウス、ラット、ヒトの MAGE-D1
特記事項	N/A
アプリケーション	1. ウェスタンブロッティング (1/1,000-1/3,000 希釈) 2. 免疫組織化学 (1/300 希釈) 3. 免疫細胞化学 (1/500-1/1,000 希釈) その他の用途は試されてない。
背景	MAGE-D1 (melanoma-associated antigen D1) は, Dlxin-1 や NRAGE とも言われ、MAGE protein family の一員である。MAGE-D1 は、ほとんど全ての正常成体組織に発現しており、p75 neutrophin receptor と反応し、nerve growth factor 依存性のアポトーシスを促進することが示されている (文献 1)。MAGE-D1 はまたその相同タンパク質である necdin と反応する。necdin は細胞増殖抑制因子であり、また神経分化の促進因子であることが知られている。necdin は MAGE-D1 を介して Msx (msh homeobox) または Dlx (distal-less homeobox) family homeodomain 転写因子と結合する。これらのタンパク質は互いに共同してニューロンや筋肉細胞の分化に働いている。Msx タンパク質は転写抑制に働く一方、Dlx タンパク質は転写促進に働いている (文献 2、3)。 マウス MAGE-D1 に対するウサギ抗体 (MD1 と命名) が作成された (文献 2)。
Data Link	UniProtKB Q9QYH6 (マウス), Q9ES73 (ラット), Q9Y5V3 (ヒト)
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

画像: 74-112 抗 MAGE-D1/Dlxin-1/NRAGE 抗体、ウサギ抗血清(MD1)



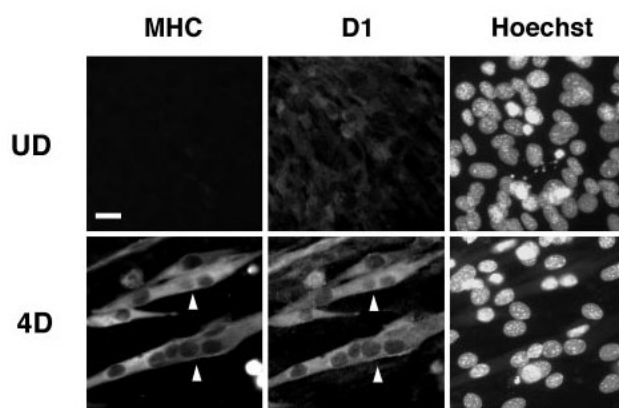


図4 この抗体を用いた免疫細胞化学

C2C12 細胞を未分化 (UD)状態、および分化誘導 4 日後 (4D) に固定し、 myosin heavy chain (MHC)、MAGE-D1 (D1)、核 DNA (Hoechst33342) で染色した。矢印は分化した多核の myocyte を示す。MHC と MAGE-D1 は、主に分化した多核の C2C12 細胞の cytosol に見られた。

文献: この抗体は文献 2,3 において使用された。

1. Salehi AH *et al* (2000) "NRAGE, a novel MAGE protein, interacts with the p75 neurotrophin receptor and facilitates nerve growth factor dependent apoptosis" *Neuron* **27**: 279-288 PMID: [10985348](#)
2. Kuwajima T *et al* (2004) "Necdin interacts with the Msx2 homeodomain protein via MAGE-D1 to promote myogenic differentiation of C2C12 cells" *J Biol Chem* **279**: 40484-40493 PMID: [15272023](#)
3. Kuwajima T *et al* (2006) "Necdin promotes GABAergic neuron differentiation in cooperation with Dlx homeodomain proteins" *J Neurosci* **26**: 5383-5392 PMID: [16707790](#)

関連製品:

#74-100 抗 Necdin 抗体、ウサギポリクローナル

#74-114 抗 MAGE-G1 / Necdin-like 2 抗体、ウサギ抗血清